

日野市気候市民会議からの提言が完成しました！



カーボンニュートラルシティ HINO の実現に向けて

日野市気候市民会議では、無作為に選ばれた一般の日野市民が、気候変動をはじめとした環境問題に対し特別な知識を持っていないところから、様々な専門家等の話で理解を深め、市民目線でカーボンニュートラル実現に向けた取り組みを議論しました。

全5回の会議を通じた市民同士の議論により最終的にとりまとめた提言は37、取り組みは390にもなります。気候変動の危機的な状況を少しでも解決に近づけるために、市民・事業者・行政すべての人がこの問題に向き合い、協力し合いながらすぐにでも取り組みをはじめていきましょう。

施策検討の考え方

- ・緩和と適応
- ・効果測定
- ・各主体が自分ごと化
- ・自立性と持続性
- ・事業の対象

①提言項目の分類

②実現性・優先性に基づいて取組を抽出

③施策構成

施策ロードマップ策定

事業者・市民に働きかけ

前提となる考え方

1 環境問題を教育や家庭、政治、行政で取り上げる

すべての人が気候変動の問題に関する事実を知り、議論し、行動に移すために、教育や家庭、政治、行政において、もっとこの問題を取り上げ、興味や関心を持てるようにすることが重要です。

2 現時点で取り組めることを洗い出し、すぐにでも実行に移す

気候変動の問題は待ったなしの状況であるため、現状より温室効果ガスの排出削減ペースを上げていく必要があります、すぐにでも取り組みを実行に移す必要があります。

3 社会と意識の「大転換」を起こす

これまでの枠組みにとらわれない社会と意識の「大転換」を起こすことが重要です。「社会の仕組みが変わること」、「人々の常識が変わること」により、化石燃料に依存しない社会を築いていく必要があります。

4 本提言書に書かれた取り組みの進み具合を評価する

本提言書をもとに啓発資料としてとりまとめたもの等を駅や公共施設、商業施設など、多くの人の目に留まる場所で配布したり、事業者への説明会を開催して周知したりする必要があります。

また、政策や取り組みの進み具合を「見える化」して評価するために、市民又は第三者による評価を実施する必要があります。

日野市気候市民会議は、二酸化炭素排出実質ゼロ(カーボンニュートラル)を目指して開催しました。参加の市民はランダムに選ばれ、様々な専門家や事業者の話聞き、議論を重ね、提言書を完成させました。会議の詳細、提言書の中身は[日野市 HP](#)をご覧ください！！

※提言書は市役所や七生支所、豊田駅連絡所、各図書館でもご覧いただけます。



日野市 HP